



四倉幸敏さん

県内の小学生がプログラミング作品のアイデアや完

県内児童プログラミングアワード

高学年の部 チームLEFTY A.

低学年の部 四倉さん(延岡伊形小3年)

大賞



高学年の部で大賞を受賞した「LEFTY A」の(左から)小林彩華さん、鎌田達生さん。1日午後、宮崎市・宮日会館

成度を競う「第8回みやざきジュニアプログラミングアワード」(宮崎日日新聞社主催)の本選は1日、宮崎市の宮日会館であった。1次審査を通過した7個人3チームが出場。高学年の部はチーム「LEFTY A」、低学年の部は延岡市・伊形小3年の四倉幸敏さん(9)が大賞に選ばれた。「LEFTY A」は全国選抜小学生プログラ

ミング大会(3月・東京都)に出場する。「みんなのみらい」をテーマに作品を募集し、本選は高学年の部に4個人3チーム、低学年の部に3個人が挑戦。開発の経緯や工夫などについて発表し、教育関係者、IT専門家ら4人が発想や技術、プレゼンテーション力を審査した。「LEFTY A」はテニスの練習のため小型コンピュターをラケットに取り付けた事例を発表。正しい軌道でスイングすると音が鳴る仕組みを実演した。メンバーの小林彩華さん(11)は「動きを学ばせるのが難しかった」、鎌田達生さん(10)は「別の競技でも試したい」と話した。四倉さんはゲーム感覚で勉強ができるプログラムを

紹介し、集中力アップのためにゲーム画面と学習画面を切り替えるよう工夫した。ことなどをアピール。受賞に「とても幸せな日になった」とはにかんだ。準大賞の受賞者と作品名は次の通り。(敬称略)

低学年の部 那須有真(都城市・上長飯小3年)「お母さんお助け装置『片頭痛予測センサー』」
▽高学年の部 鶴島伊吹(都城市・大王小5年)「AI安全装置」